

剣道における新型コロナウイルス感染症予防：オミクロン株対策

茨城県医学委員会 委員長 林明人 令和4年1月14日

【新型コロナウイルス感染症の現在の感染状況】

新型コロナウイルス感染症はデルタ株からオミクロン株にかわり第6波に突入しています。1月14日の新規感染者は日本全体で2万人を超え、東京で4000人超え、茨城県でも249名と猛烈な勢いで感染が急拡大しています。

【オミクロン株の特徴】

オミクロン株の特徴としては、感染力がデルタ株の約3倍と強く、子どもの感染も多い、感染から発症まで3日と短い、重症化率が現時点では低い（しかし高齢者の重症化率についてデータが少ない。）ことなどが分かっています。

【オミクロン株に対するワクチン効果と治療薬】

オミクロン株は多くの変異箇所があるため、コロナワクチンの2回接種では予防効果が低いです。3回接種では7割程度の予防効果があります。重症化予防効果はある程度保たれる見込みです。また、モルヌピラビルという新しい飲み薬を発症して5日以内に服用すれば重症化予防の効果があることが分かっています。

【オミクロン株の拡がりに対して剣道では対処すべき点】

感染力の強いオミクロン株に対してはこれまで以上に基本対策をしっかりとすることが必要です。基本的な個人対策としては、

1. 健康管理をしっかりとして体調が悪い時には稽古などに参加しないこと
2. 手指消毒・マスクをしっかりとすること
3. 通気・換気を行い、3密（密閉・密集・密接）を回避すること
4. 特別な理由がない場合にはコロナワクチン3回目の接種が望ましい
5. 稽古後も含めて会食はできるだけ避けること

【とくにマスクの装着のやり方】

稽古中は面マスク（スポーツマスク）と面に装着したシールドをしています。面を外したらスポーツマスクだけになります。スポーツマスクだけの場合には飛沫や微粒子・エアロゾルを防ぐ効果はかなり低下しています。従いまして、感染力の強いオミクロン株対策としては、面をつける前や面を外した後には直ぐに不織布マスクに付けなおすことを励行することが肝要です。

【稽古会や道場の活動について】

基本的にはこれまで通り県・市町村の施設の決定に従いますが、各稽古会や道場で慎重に責任をもって活動の可否を判断してください。活動ができなくなった場合においても皆でお互いに連絡し合いコミュニケーションをとってください。

万が一、感染者が出た場合には保健所への報告以外にも道場や稽古会さらに茨城県剣道連盟に報告をお願いします。

以上、オミクロン株への対策を徹底して健康安全に留意しながら、ともに剣道の道を歩んでいきましょう。